



IDF PRESS RELEASE

Belfast, 3rd November 2017

IDFプレスリリース

2017年11月3日、ベルファスト発

ビッグデータと新技術で乳の未来を切り拓く

新技術の急速な発達といわゆる「ビッグデータ」の大きな飛躍は酪農乳業に重大な効果を与えている、と本日のIDFワールドデーリーサミット2017ベルファストで語られた。

酪農乳業は、作業効率を改善するために躍動する新技術を最前線に立って採用している。一方で、栄養価が高く安全で持続可能な食品を増え続ける世界の人々に供給している。

このセミナーではドローン、センサー技術、3D印刷およびブロックチェーンを含む8つの革新的な技術を選び出した。ビッグデータの進歩と合わせて酪農乳業を前向きに破壊することもありえる。

ビッグデータと新技術がいかに増々重要度を増し、世界中の乳牛の飼養にいまにも革命を巻き起こす事態になっているかを聴衆は聞いた。また最新技術を採用すると同時にビッグデータを有効利用することが、酪農場における作業の一貫性を確保し、効率性と生産性の向上に資するかについても議論された。

このセミナーでは、新技術の採用とビッグデータの活用が、デーリーサプライチェーン全体、特に農場レベルに付加価値をもたらし、また実務面ではこの新技術が使いやすく、酪農家のより良い経営判断に資することが確認された。

酪農場における次代の革命というものは、事後に対策を打つ管理から予想する管理実務

へ移行することである。酪農家が経営資源をより効率的に配分し、より持続可能なやり方で経営できるということである。

IDF会長で、デリーUK最高経営責任者のジュディス・ブライアンス氏は、「酪農乳業界にとって非常にわくわくする時代になりました。技術的な進歩の速さは農場の実務を一変させています。我が業界としてはこの進歩がもたらすオポチュニティを確実に手中にすることです。増え続ける世界の人々に豊かな栄養で持続可能な食品を供給するという乳の役割は、今ほど大切になった時代はありません。新技術を創造的に応用することにより、乳が将来の世代にとって大切であることを確約します。」と語った。



翻訳：J I D F 事務局

编者注: 仮訳の正確性、完全性、有用性等についてはいかなる保証をするものではありません。参考資料として扱い、内容に疑義が生じた場合は英文の原文をご確認ください。